

Technics®

OTTAVA™ S



取扱説明書

ワイヤレススピーカーシステム

SC-C50

音楽は、国を越えて、世代を越えて、
人の心を揺さぶり続けます。
そして時代はいつも、
新しい感動を求めています。
まだ経験したことのない音との出会い。
音楽を愛するすべての人に、
再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™

Technics

最高水準の感動を、
世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、
音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、
世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。
これが私たちの掲げたフィロソフィーです。
音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、
Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。
すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、
世界中の人々から、憧れを抱いていただける、
幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

ディレクター
小川理子

A handwritten signature in black ink that reads "Michiko Ogawa". The signature is fluid and cursive, with a long horizontal stroke extending from the end of the name.

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」(05～07ページ)を必ずお読みください。
- ・保証書(別添付)は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■本書内の表現について

- ・参照していただくページを(⇒○○)で示しています。
- ・イラストや画面表示が実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

もくじ

安全上のご注意(必ずお守りください)	05	
取り扱いについて	08	
各部の名前と働き	09	
基本の操作	外部機器 / 電源コードを接続する	10
	ネットワークに接続する	11
	本機でできること	15
	Bluetooth® 機器の音楽を聴く	16
	ネットワークの音楽を聴く	17
無線機能使用上のお願い	18	
著作権について	19	
仕様	20	
保証とアフターサービス(よくお読みください)	22	

さらに詳しい使いかたを知りたいときは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください

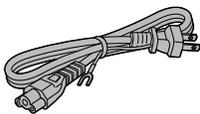
- ・「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)は、Webサイトからダウンロードできます。
jp.technics.com/support/



- ・「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。(2019年9月現在)
<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

付属品

電源コード(1本)
K2CF3YY00021



- ・表紙に記載のスマートフォンは同梱されていません。
- ・付属品の品番は2019年9月現在のものです。変更されることがあります。
- ・電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- ・包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- ・小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ・本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---	--

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

警告



電源プラグ
を抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。
- ・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- ・抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- ・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因にもなります。

アース端子を電源コンセントに差し込まない

火災・感電の原因になります。

アース線の接続、取り外しは、電源プラグをコンセントに接続している状態では行わない

感電の原因になります。

- ・アース線の接続は、電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。
- ・アース線の取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- ・機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- ・特にお子様にはご注意ください。

本機を天井から吊り下げたり、壁に掛けたりしない

落ちてけがの原因となることがあります。

警告



自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



分解禁止

分解、改造をしない

・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

アース線の接続は確実に行う

本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アース線の接続は確実に行ってご使用ください。感電の原因になります。

・アース工事は専門業者にご依頼ください。

注意



不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災や誤動作の原因になることがあります。

- 本機は、本棚やラックの中など狭い空間に設置しないでください。
- 本機を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーには、強力なマグネットが使用されております。キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。

本機の上に火のついたロウソクのような裸火を置かない



雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

接触禁止



長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- USB メモリーは、保護のために取り外しておいてください。

電源プラグ
を抜く

本機の設定

- 本機を移動させるときは、接続している機器をすべて取り外して電源を切って移動してください。また、引きずらず、持ち上げて移動してください。
- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。
- 本機は、温帯気候での使用を意図しています。

スピーカーについて

- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも以下のような場合には、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてください。
 - 再生音が歪んだとき
 - 音質調整をするとき
 - 電源を入/切するとき

よりよい音響効果を得るために

本機の設置場所、リスニング位置、部屋の状態などによって、低音の質や量、音の定位、臨場感など、音質に変化が生じます。以下のことを参考にして設置してください。

設置場所を決める

- 平らで安定した場所に、ぐらつきのないように設置してください。

本機と壁の距離を調整する

- 本機を壁やコーナーに近づけて設置すると低音が増えます。ただし近づけすぎると音がこもったり、音の定位や臨場感が低下することがあります。

Space Tune で調整する

- 本機を設置した場所（壁際や部屋の隅など）に合わせて、適した音質に自動で調整することができます。

- ① [▶/||] を 5 秒間押したままにする
 - 「Space Tune (Auto)」が表示されます。
- ② 「Space Tune (Auto)」が表示中に、再度 [▶/||] を押す
 - 調整中は比較的大きなテスト音が出力されます。
 - 途中でやめるときは、[↵] を押してください。
 - 設定が完了すると「Success」と表示されます。
- ③ [↵] を押して設定を終了する

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

専用アプリ

「Technics Audio Center」を使う

お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリ「Technics Audio Center」（無料）をインストールすると、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機のスピーカーから再生したり、インターネットに接続して、音楽ストリーミングサービスを利用し本機をスピーカーに設定して再生することができます。また、複数のスピーカーと連携して使ったり、音質の調整などの各種設定もすることができます。

詳しくは下記をご覧ください。

jp.technics.com/support/

ファームウェアを更新する

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。これらのアップデートは無料でご利用できます。

- ネットワーク経由で更新する。(⇒ 11)
- USB メモリーで更新する方法については、下記のサイトをご確認ください。

jp.technics.com/support/firmware/

本機の設定をお買い上げ時の状態

(工場出荷設定) に戻すには

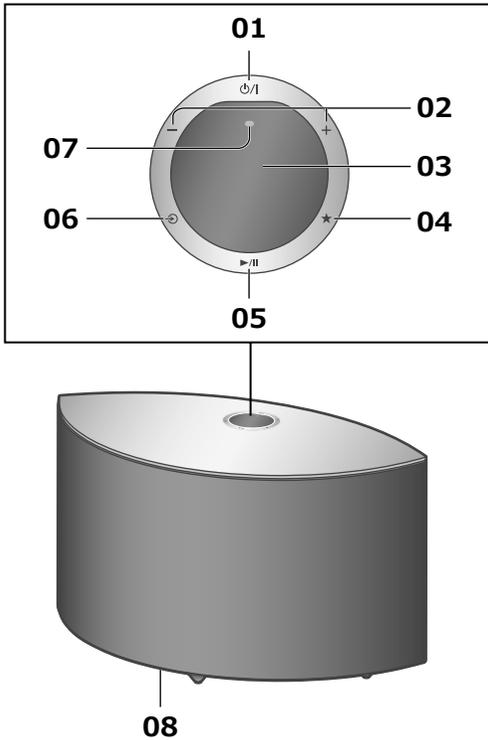
本機の設定をお買い上げ時の状態(工場出荷設定)に戻すときは、電源が入っている状態で [•DIMMER / -INFO] を押しながら [⏻/||] を 5 秒以上、押し続けたままにしてください。本機が再起動し、お買い上げ時の設定に戻ります。

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。(上記)

- アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第3者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本体前面 / 上面

**01 [〇/|] 電源キー**

電源を入 / 切します。

02 [-] [+] 音量キー

・音量の範囲：0（最小）～100（最大）

03 表示窓

入力ソースなどを表示します。

04 [★] お気に入りキー

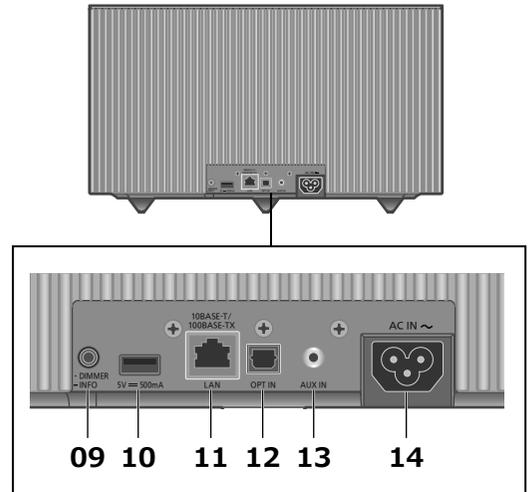
お気に入りの放送局や音楽（USB、Podcasts、Spotify など）を登録し、呼び出すことができます。

- ・最大9つまでお気に入りの放送局や音楽を登録することができます。登録するには、合わせた放送局や音楽の再生中に [★] を「Memorised」と表示されるまで押したままにしてください。1～9までの空いている番号に自動的に登録します。

05 [▶/||] 再生 / 一時停止キー**06 [⇄] 入力ソース切換キー****07 内蔵マイク（測定用）****08 定格銘板（本体底面）**

- ・製品品番は定格銘板内に記載されています。

本体背面

**09 [●DIMMER / -INFO]**

表示窓や本体底面のイルミネーションの明るさを切り換えます。

- ・消灯にしているときは、本機を操作したときだけ表示窓が数秒間点灯し、表示窓が消灯する前に「Display Off」が数秒間、表示されます。
- ・押すたびに明るさが切り換わります。
- ・押したままにすると、ネットワークの接続状態や設定内容を表示します。その後、押すたびに本機の表示内容が変わります。（その間の明るさは切り換わりません）

**10 USB 端子 (USB-A)
(DC 5 V ≒ 500 mA)**

「Technics Audio Center」アプリ（無料）を使って、接続したUSBメモリーにある音楽を本機のスピーカーからお楽しみいただけます。（⇒10）

詳しくは下記をご覧ください。

jp.technics.com/support/

- ・USBメモリーを接続していると、[●DIMMER / -INFO] が押しにくくなります。必要に応じて取り外してください。

11 LAN 端子 (⇒12)**12 光デジタル入力端子**

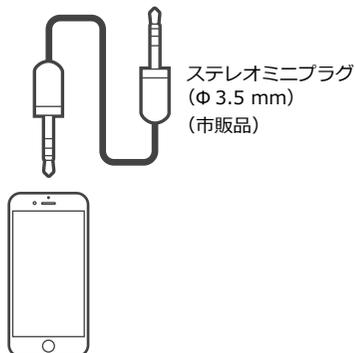
CDプレーヤー機器などを光デジタルケーブル（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。（⇒10）

13 AUX 入力端子

携帯音楽プレーヤーなどをステレオミニプラグ（Φ3.5 mm）（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。（⇒10）

14 AC IN 端子 (～) (⇒10)

アナログ出力機器の接続

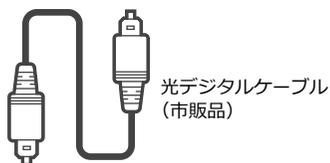


携帯音楽プレーヤーなど

お知らせ

- 接続機器で動画を再生すると、映像に対して音声が入らずに聞こえる場合があります。

光デジタル出力機器の接続

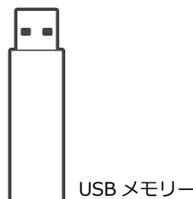


CDプレーヤーなど

お知らせ

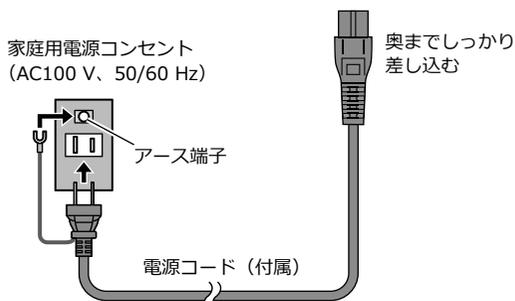
- 接続機器で動画を再生すると、映像に対して音声が入らずに聞こえる場合があります。

USBメモリーの接続



電源コードの接続

電源コードはすべての接続が終わった後、接続してください。



家庭用電源コンセント
(AC100 V、50/60 Hz)

奥までしっかり
差し込む

- 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。
- 電源を入れ、「Wi-Fi Setup」が表示された場合、無線 LAN 接続設定をしないときは [↵] を押してください。無線 LAN 接続設定をするときは、「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って設定してください。(⇒ 11、12)

お願い

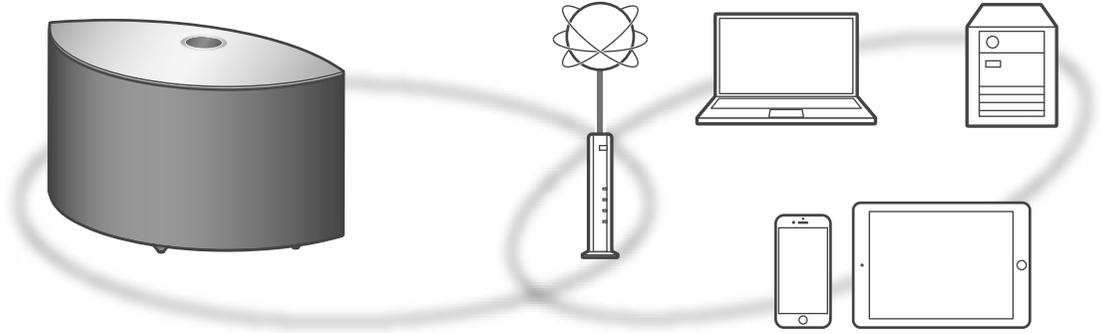
- 電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。
- アース線先端のキャップを外し、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前にアース接続を行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

お知らせ

- 本機が電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。本機が電源「切」状態でも、電力を消費しています。(電源切(スタンバイ)時の消費電力⇒ 20)

本機をネットワークに接続することで、同じネットワークに接続している機器の音楽を本機のスピーカーでお楽しみいただけます。

また、インターネットにつながったネットワークに接続すれば、音楽ストリーミングサービスを利用し本機をスピーカーに設定して再生することができます。



本機は、ブロードバンドルーターと有線 LAN または無線 LAN (Wi-Fi®) で接続することができます。ネットワーク接続時の安定した再生のためには有線 LAN をお勧めします。

■準備する

お使いのスマートフォンやタブレットに「Google Home」アプリをインストールして、接続設定ができます。

- Google Cast™ 対応アプリから本機で音楽を再生する場合 (⇒ 17)、「Google Home」アプリから接続設定を行ってください。
- お使いのスマートフォンやタブレットの Wi-Fi 機能を「入」にする。

1 お使いのスマートフォンやタブレットに「Google Home」アプリをインストールする

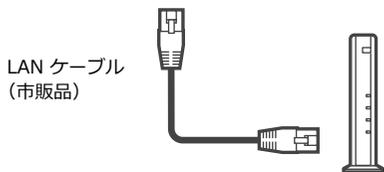
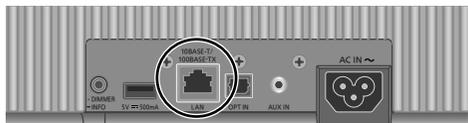
- 「Google Home」アプリは下記のサイトからダウンロードしてください。
<https://www.google.com/cast/setup/>



2 本機を接続するネットワークに、あらかじめスマートフォンやタブレットを接続しておく

- インターネットにつながったネットワークに接続してください。

有線 LAN 接続



ブロードバンドルーターなど

- 1 本機の電源コードを抜く
- 2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する
- 3 本機に電源コードを接続する (⇒ 10)
- 4 [ / I] を押して電源を入れる
- 5 「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って接続設定を行う

(Google Cast 対応アプリから本機で音楽を再生する場合 (⇒ 17))

お知らせ

- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- カテゴリ LAN ケーブル STP ストレート結線（シールドタイプ）をご使用ください。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- 電源を入れた後、起動までに時間がかかることがあります。
- ネットワーク接続完了後、「Firmware update is available」と表示された場合、本機のファームウェアを更新することができます。[ / ] を 5 秒以上、押したままにすると更新が始まります。([]) を押すと表示が消えて更新は中止されます。
 - 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示窓に表示されます。(□は数字を表しています)
 - 更新が完了すると「Success」と表示されるので、電源を切 / 入してください。
- Wi-Fi 機能を「On」にしても、LAN ケーブルを接続すると有線 LAN で動作します。([]) の表示が消えます)
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

無線 LAN 接続

■準備する

- ① 本機の電源コードを抜く
- ② LAN ケーブルを取り外す
- ③ 本機を無線ブロードバンドルーターのなるべく近くに置く
- ④ 本機に電源コードを接続する (⇒ 10)

お知らせ

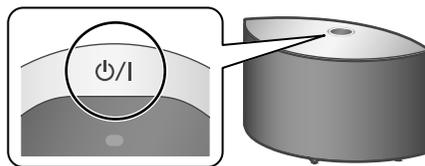
- 電源を入れた後、起動までに時間がかかることがあります。
- ネットワーク接続完了後、「Firmware update is available」と表示された場合、本機のファームウェアを更新することができます。[ / ] を 5 秒以上、押したままにすると更新が始まります。([]) を押すと表示が消えて更新は中止されます。
 - 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示窓に表示されます。(□は数字を表しています)
 - 更新が完了すると「Success」と表示されるので、電源を切 / 入してください。
- ネットワーク接続が未設定のときは、「」が点滅します。ネットワーク接続設定が完了すると「」は消えます。

「」が点滅中は、「Google Home」アプリから接続設定ができる場合があります。「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って設定してください。(⇒ 14)

- ネットワーク設定は、時間がかかると中止されることがあります。その場合、設定をやり直してください。
- 無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには [] を押すか、電源を切ってください。
- 本機は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯で使用することができます (⇒ 20)。ネットワークへの接続は、802.11ac または 11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) のブロードバンドルーターの使用をお勧めします。

「Google Home」アプリを使って初めてネットワーク接続設定をする

- 1 [ / I] を押して電源を入れる



- 「Wi-Fi Setup」が点滅します。

Wi-Fi Setup

- 2 「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って接続設定を行う

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SC-C50-****」と表示されます。（「****」は機器に固有の文字を表しています）
- 「Google Home」アプリや「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報（SSID、MACアドレス、IPアドレス）を確認することができます。
- 「Google Home」アプリには、本機とは関連性のない表示もあります。
- 無線ネットワークの接続設定を中止するときは、[↻]を押してください。
- Wi-Fi機能の設定を途中で中止し、その後に本機の電源を切/入すると、再度「Wi-Fi Setup」が表示されます。設定を行うか、もしくはWi-Fi機能を「Off」にすると以降は表示されません。
- 無線ネットワークの接続設定を中止し、本体背面の[●DIMMER / -INFO]を押しながら本体上面の音量[-]を5秒間押し続けたままにすると、Wi-Fi機能の「On」/「Off」を切り換えることができます。
- その他の接続方法について（下記）

設定メニューからネットワークの接続設定をする（Google Cast対応アプリを使わないとき）

WPS プッシュボタンで接続する「WPS」

お使いの無線ブロードバンドルーターがWPSに対応している場合、WPSボタンを押して本機と無線LAN接続することができます。

- WPS（Wi-Fi Protected Setup™）方式に対応している無線ブロードバンドルーターにはWPSマークがあります。
- 「WPS」が表示されてから2分以内に設定を行ってください。

1 本体背面の[●DIMMER / -INFO]を押しながら本体上面の[↻]入力ソース切換キーを押したままにする

- それぞれの接続方法（WPS/WPS PIN/Wi-Fi Setup）が順番に表示されます。
- 表示は5秒間隔で変わります。
- [⏻/⏻]を押して電源を入れた時に「Wi-Fi Setup」が点滅表示する場合は、[↻]を押して、「Wi-Fi Setup」画面を消してから、再度やりなおしてください。

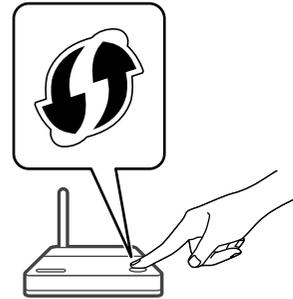


- お使いの無線ブロードバンドルーターがWPS（Wi-Fi Protected Setup™）プッシュボタンに対応している場合

2 「WPS」が表示されている状態で、押していた[↻]と[●DIMMER / -INFO]を離す

3 無線ブロードバンドルーターのWPSボタンを押す

例：WPS マーク



- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
 - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。

4 [▶/⏻]を押して接続設定を終了する

WPS PINコード方式で接続する「WPS PIN」

お使いの無線ブロードバンドルーターがWPSに対応している場合、PINコードを入力することで本機と無線LAN接続することができます。

- ルーターの取扱説明書などで、PINコードの入力方法を調べておいてください。
- 8桁のPINコードが表示されてから2分以内に設定を行ってください。

1 本体背面の[●DIMMER / -INFO]を押しながら本体上面の[↻]入力ソース切換キーを押したままにする

- それぞれの接続方法（WPS/WPS PIN/Wi-Fi Setup）が順番に表示されます。
- 表示は5秒間隔で変わります。
- [⏻/⏻]を押して電源を入れた時に「Wi-Fi Setup」が点滅表示する場合は、[↻]を押して、「Wi-Fi Setup」画面を消してから、再度やりなおしてください。



- お使いの無線ブロードバンドルーターがWPS PINコード方式に対応している場合

2 「WPS PIN」が表示されている状態で、押していた[↻]と[●DIMMER / -INFO]を離す

3 パソコンなどからルーターに接続し、

表示された PIN コード「64428147」を入力する

- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
 - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。

4 [▶/II] を押して接続設定を終了する

お知らせ

- Google Cast 対応アプリから本機で音楽を再生する場合（⇒ 17）、「Google Home」アプリから接続設定を行ってください。
- 無線ブロードバンドルーターによっては他の無線機器の接続が一時的に切断されることがあります。
- 無線ブロードバンドルーターの使いかたなど詳細については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

設定メニューからネットワークの接続設定をする

（Google Cast 対応アプリを使うとき）

「Google Home」アプリから接続する 「Wi-Fi Setup」

Google Cast 対応アプリから本機で音楽を再生する場合は、「Google Home」アプリからネットワークの接続設定をする必要があります。他の方法で接続設定をしている場合は、以下の手順で設定をやり直してください。

1 本体背面の [●DIMMER / -INFO] を押しながらか本体上面の [↻] 入力ソース切換キーを押したままにする

- それぞれの接続方法（WPS/WPS PIN/Wi-Fi Setup）が順番に表示されます。
- 表示は 5 秒間隔で変わります。
- [⏻/|] を押して電源を入れた時に「Wi-Fi Setup」が点滅表示する場合は、[↻] を押して、「Wi-Fi Setup」画面を消してから、再度やりなおしてください。

Wi-Fi
Setup

- 「Google Home」アプリを起動して接続の設定をする場合

2 「Wi-Fi Setup」が表示されている状態で、押していた [↻] と [●DIMMER / -INFO] を離す

3 アプリを起動して画面の指示に従う

- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
 - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。

4 [▶/II] を押して接続設定を終了する

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SC-C50-****」と表示されます。（「****」は機器に固有の文字を表しています）
- 「Google Home」アプリや「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報（SSID、MAC アドレス、IP アドレス）を確認することができます。
- 「Google Home」アプリには、本機とは関連性のない表示もあります。

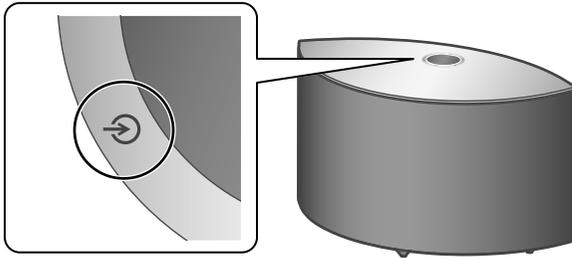
Wi-Fi 機能の有効・無効を切り換える

1 本体背面の [●DIMMER / -INFO] を押しながらか本体上面の音量 [-] を 5 秒間押したままにする

- Wi-Fi 機能の「On」/「Off」が切り換わります。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「On」です。



1 [〇/I] を押して電源を入れる

2 [⇄] を押して入力ソースを切り換える

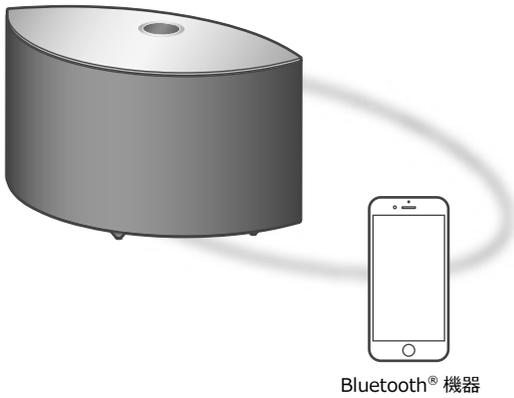
• 各種入力ソース（下記）の音楽を楽しむことができます。

• いくつかの入力ソースは「Google Home」アプリや「Technics Audio Center」アプリ（無料）から本機に接続し再生することで切り換わります。詳しくは、下記のサイトをご覧ください。

jp.technics.com/support/

- ネットワークの接続・設定が必要です。(⇒ 11)

<p>AUX アナログ出力機器の音楽を聴く</p> <p>携帯音楽プレーヤーなどをステレオミニプラグ（Φ 3.5 mm）（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。(⇒ 10)</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生操作は、携帯音楽プレーヤーなどの機器側で行ってください。 	<p>OPT デジタル出力機器の音楽を聴く</p> <p>CDプレーヤー機器などを光デジタルケーブル（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。(⇒ 10)</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生操作は、CDプレーヤーなどの機器側で行ってください。 	<p>Bluetooth® Bluetooth® 機器の音楽を聴く</p> <p>Bluetooth® に対応した機器を本機に登録して、機器の音楽を再生することができます。(⇒ 16)</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生操作は、Bluetooth® 機器側で行ってください。
<p>USB USB メモリーの音楽を聴く</p> <p>USB メモリーを本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生操作は、「Technics Audio Center」アプリ（無料）で行ってください。 	<p>Podcasts インターネットラジオ、Podcasts を聴く</p> <p>「Technics Audio Center」アプリ（無料）を使って、本機をインターネットラジオのスピーカーに設定して再生することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生操作は、「Technics Audio Center」アプリ（無料）で行ってください。 	
<p>Google Cast Google Cast 対応アプリの音楽を聴く</p> <p>本機は Google Cast を搭載しています。Google Cast 対応アプリをスマートフォンやタブレットなどにインストールすれば、本機をスピーカーにして音楽を再生することができます。(⇒ 17)</p> <ul style="list-style-type: none"> Google Cast に対応したアプリの情報については下記のサイトをご覧ください。 g.co/cast/apps 	<p>音楽ストリーミングサービス (Spotify など) の音楽を聴く</p> <p>音楽ストリーミングサービス (Spotify など) のアプリを起動し、本機をスピーカーに設定して再生することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機で対応している音楽ストリーミングサービスについては下記のサイトをご覧ください。 jp.technics.com/support/ 	
<p>DMR ネットワーク接続した機器の音楽を聴く</p> <p>「Technics Audio Center」アプリ（無料）を使ってネットワーク接続している機器にある音楽を再生することができます。(⇒ 17)</p>	<p>AirPlay AirPlay で音楽を聴く</p> <p>iOS 機器などに保存した音楽を、AirPlay の機能を使って再生することができます。</p>	



登録・接続する

- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする。

1 [➡] を押して入力ソースを「0」に切り換える

- 「0」が 1 秒おきに点滅します。
- すでに登録済みの場合は「0」が毎秒点滅し、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとしています。接続後は手順 4 へ進んでください。

2 [➡] を押したままにする

- 「0」が 1 秒おきに点滅し、登録待機状態になります。

3 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「Technics-SC-C50-****」を選んで接続する

- 「****」は機器に固有の文字を表しています。
- 「Google Home」アプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

4 Bluetooth® 機器側を操作して音楽を再生する

お知らせ

- パスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ 4 つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされるため、機器の登録が解除されます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

機器を再生する

- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

1 [➡] を押して入力ソースを「0」に切り換える

- 「0」が毎秒点滅し、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとしています。接続後は手順 3 へ進んでください。

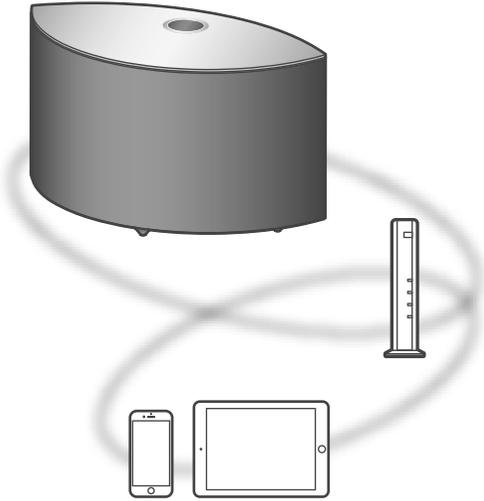
2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「Technics-SC-C50-****」を選んで接続する

3 Bluetooth® 機器側を操作して音楽を再生する

お知らせ

- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 「0」以外の入力ソースが選ばれると、Bluetooth® 機器の接続が解除されます。

Google Cast 対応アプリの音楽を聴く



本機では Google Cast に対応したアプリをお使いいただけます。Google Cast に対応したアプリの情報については下記のサイトをご覧ください。

g.co/cast/apps

■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 11)
(インターネットにつながったネットワークに接続してください)
- お使いの機器 (スマートフォンやタブレットなど) に Google Cast に対応したアプリをインストールする。
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

1 お使いの機器 (スマートフォンやタブレットなど) から Google Cast 対応アプリを起動して本機を選択する

- 入力ソースが「Google Cast」に切り換わります。

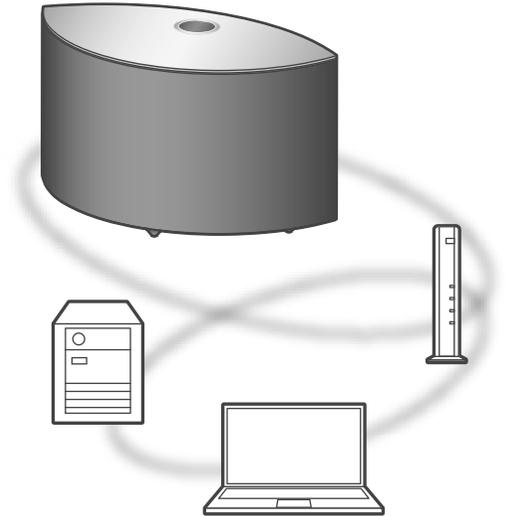
2 音楽を再生する

すべての音楽ストリーミングサービスが利用できるわけではありません。音楽ストリーミングサービスを利用する場合は、登録 / 定期購入が必要になったり、使用料金が発生する場合があります。また、提供サービスは予告なく変更・停止する場合があります。詳しくは各音楽ストリーミングサービスのホームページをご覧ください。

廃棄 / 譲渡するときのお願い

アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第3者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。

ネットワーク接続した機器の音楽を聴く



「Technics Audio Center」アプリ (無料) を使って、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機のスピーカーからお楽しみいただけます。

■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 11)
- 以下の機器を本機と同じネットワークに接続する。
 - 「Technics Audio Center」アプリをインストールした機器
 - 音楽ファイルを保存している機器

1 お使いのスマートフォンやタブレットに「Technics Audio Center」アプリ (無料) をインストールする

- 「Technics Audio Center」アプリ (無料) のインストールについては下記をご覧ください。
jp.technics.com/support/

2 「Technics Audio Center」アプリを起動する

- アプリは常に最新バージョンをお使いください。

3 出力するスピーカーとして本機を選ぶ

4 再生する音源を選ぶ

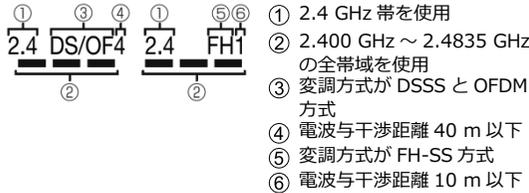
5 再生する曲を選ぶ

■使用周波数帯

内蔵無線機器は、2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック
DIGA(ディーガ)・オーディオ
ご相談窓口 (⇒ 23)

■機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- ・分解 / 改造する
- ・定格銘板を消す / はがす
- ・5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用また使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

・日本国内でのみ使用できます。

・利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク (SSID: ネットワークを識別するための名前) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

・磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。

- 電子レンジ
- デジタルコードレス電話機
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く (ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
- 電波が反射しやすい金属物などの近く

・電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があり傍受される可能性があります。

・すべての Bluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。

・無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。

・Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。

・ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- ・放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ・無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

■用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途*での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。

例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

本文中に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。



“Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。

Wi-Fi Protected Setup™ ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。



Works with Apple バッジの使用は、アクセサリがバッジに記載された技術で動作するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたことを示します。

Apple、AirPlay は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

本機は AirPlay2 対応製品です。iOS 11.4 以降が必要です。



Google、Google Home、Google Cast は Google LLC の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Mac および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

DSD はソニー株式会社の登録商標です。

FLAC Decoder

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Spotify ソフトウェアは、以下に記載のサードパーティソフトウェアを利用しています。
www.spotify.com/connect/third-party-licenses

QR コードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。



音のエチケットシンボルマーク

仕様

■総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz	
消費電力	42 W	
電源切 (スタンバイ) 時の 消費電力	Network Standby Off	0.2 W
	Network Standby On (無線 LAN 接続設定時)	2.0 W
	Network Standby On (有線 LAN 接続設定時)	2.0 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	375 mm × 220 mm × 197 mm	
質量	約 5.9 kg	
許容動作温度	0 °C ~ +40 °C	
許容相対湿度	35 % ~ 80 % RH (結露なきこと)	

■アンプ部

定格出力	フロントスピーカー (L/R)	20 W + 20 W (1 kHz、T.H.D. 1.0%、 8 Ω、20 kHz LPF、 JEITA)
	フロントスピーカー (センター)	20 W (1 kHz、T.H.D. 1.0%、 8 Ω、20 kHz LPF、 JEITA)
	サブウーハー	40 W (100 Hz、T.H.D. 1.0%、 4 Ω、20 kHz LPF、 JEITA)

■スピーカー部

フロントスピーカー (L/C/R)

形式	2 ウェイ、2 スピーカーシステム (密閉方式)
ウーハー	6.5 cm × 1/ch、 コーン型
ツイーター	1.6 cm × 1/ch、 ドーム型

サブウーハー

形式	1 ウェイ、 1 スピーカーシステム (バスレフ方式)
サブウーハー	12 cm × 1/ch、 コーン型

■Bluetooth® 部

バージョン	Bluetooth® Ver. 4.2
送信出力	Class 2 (2.5 mW)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	AAC、SBC
通信方式	2.4 GHz Band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m ^{※1}

※1 温度 25 °C、高さ 1 m、「Mode1」(通信の安定性を重視したモード) の条件で測定

■入出力端子部

USB	USB、タイプ A コネクタ USB 2.0 High-speed DC 5 V、最大 500 mA USB Mass Storage Class ファイルシステム： FAT16、FAT32、NTFS	
	対応 USB メモリ容量	最大 2 TB
	最大フォルダ数 (アルバム数)	800
	最大ファイル数 (曲数)	8000
イーサネット インターフェース	LAN (100 BASE-TX、 10 BASE-T)	
AUX 入力	ステレオ (φ 3.5 mm)	
デジタル 入力	光デジタル入力 (光型端子)	
	サポート フォーマット	LPCM

■Wi-Fi 部

規格	IEEE802.11a ^{※2} /b/g/ n/ac ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、 ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯) (5 GHz は屋内使用限 定)	
セキュリティ	WPA2™、 Mixed mode WPA2™ / WPA™	
	暗号化方式	TKIP / AES
	認証方式	PSK WEP (64 bit/128 bit)

※2 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。

■再生フォーマット

本機は以下の再生フォーマットに対応しています。

- 本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。
- 本機が対応している再生フォーマットでも再生できないことがあります。
- 本機が対応していない再生フォーマットを再生すると、音声が途切れたりノイズが出ることがあります。その場合は、本機が対応している再生フォーマットであることを確認してください。
- 本機はVBR（可変ビットレート）に対応していません。
- 接続している機器およびサーバーによっては本機が対応していないファイル形式を変換して出力できるものもあります。詳しくは、機器およびサーバーの取扱説明書をご確認ください。
- 本機と再生ソフトで、表示されるファイル情報（サンプリング周波数など）が異なる場合があります。

光デジタル入力で音楽を再生する場合

サポートフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
LPCM	32, 44.1, 48, 88.2, 96 kHz	16, 24 bit

USB-A で音楽を再生する場合

ファイルの種類	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32, 44.1, 48 kHz	16 ~ 320 kbps
AAC	.m4a/.aac	32, 44.1, 48, 88.2, 96 kHz	16 ~ 320 kbps
WAV	.wav	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
FLAC	.flac	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24 bit
AIFF	.aiff	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
ALAC	.m4a	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8, 5.6, 11.2 MHz	

DMR（デジタルメディアレンダラー）として音楽を再生する場合*

ファイルの種類	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32, 44.1, 48 kHz	16 ~ 320 kbps
AAC	.m4a/.aac	32, 44.1, 48, 88.2, 96 kHz	16 ~ 320 kbps
WAV	.wav	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
FLAC	.flac	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24 bit
AIFF	.aiff	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
ALAC	.m4a	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8, 5.6, 11.2 MHz	

※：ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、本機が対応しているフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。例えば、Windows Media Player 11 をお使いの場合、PCに入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。

注：上記の仕様は2019年9月現在の情報です。予告なく変更する場合があります。変更内容については、下記のサイトをご覧ください。

jp.technics.com/support/firmware/

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	()	—		
お買い上げ日		年	月	日

■修理を依頼されるときは

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式) (⇒ 04) の「故障かな!?’でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレススピーカーシステム
品番	SC-C50
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support/>



? DIGA (ディーガ)・オーディオ
使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-982** 受付時間 9:00~18:00 月~土曜日 (祝日・正月三が日を除く)

■上記電話番号をご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays / national holidays)

🔧 修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-554** パナは イイヨ

■上記電話番号をご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**

<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検		長年ご使用のワイヤレススピーカーシステムの点検を！	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ・煙が出たり、異常なおいや音がする ・音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他、異常や故障がある 	ご使用 中止
		故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。	

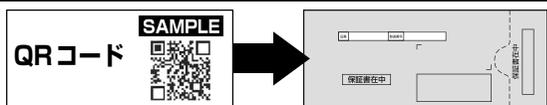
パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理
登録商品のサポートも充実

詳しくはこちら
<https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます



・QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

パナソニック株式会社
パナソニックエンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号
© Panasonic Corporation 2018 - 2024